

2025 年度

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅱ①			授業の種類	実習	講師名					
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2	通年

【授業の目的・ねらい】

現場での対応力を高めることのできる実践的な訓練を中心に授業を進める。それに伴い1年時に習得した基本手技を再確認しながら、処置や活動に対して根拠を持つようとする。また、JPTEC, PEMECなどの活動を理解し実践し、そのスキルを習得することを目的とする。

【実務経験者】

- ・消防機関に約39年間救急隊として従事し、その後3年間は医療機関にて急患部及びドクターカーの運用などに携わる。
 - ・病院の救急センターなどで、看護業務に携わる。

【授業全体の内容の概要】

基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。症候ごとの対応やCPA症例、内因性、外因性などそれぞれに対応できるスキルを身につける。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】

外傷、脳卒中、急性冠症候群、内因性疾患、外傷の活動において、学生自身が医学的根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
2	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
3	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
4	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
5	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
6	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
7	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
8	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
9	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
10	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
11	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
12	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
13	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
14	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機
15	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習	セーブマン・TEC2603 隊長パック・酸素吸入器 吸引機

【通用教科書・教材・参考書】

【使用教科書・教材・参考書】
救急救命土標準テキスト・救急資器材マニュアル

【準備學習・時間外學習】

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

OSCF試験（履修規定に準じる）

2025 年度

授業概要

2025 年度

授業概要